



～主体的・対話的で深い学び～

「教育とは、炎を灯すことであって、器を満たすことではない。」これは、ギリシャの哲学者ソクラテスの言葉です。「知識を一方的に詰め込むような受動的なものではなく、子どもの学ぼうとする意欲を刺激し、自ら問いを立て、考え、学び続ける力を育むことが教育である。」2500年ほど前の人物の言葉ですが、現代でも通じる教育の本質を表した言葉だと思います。

この言葉は、変化が激しく予測困難な社会の中で、子どもたちが自ら課題を見つけ、学び、考え、判断し、自己実現を図るための「生きる力」を育むことを目指した現行の学習指導要領が求めている教育とも一致しています。そして、そのための学習の在り方として「主体的・対話的で深い学び」が示されています。

では、具体的にどのような授業が「主体的・対話的で深い学び」となるのでしょうか。文部科学省は、6年生の社会科で鉄砲の伝来について学習する場面を一例に挙げ、「他の場所にも伝わっていたかもしれないのに、なぜ種子島から鉄砲が全国に、しかも急速に広がったのだろうか」と問いを立ててみる、としています。そこから、地図や地域の特色、政治的な状況などについての資料を読み取り、根拠に基づいて問いを考察し、意見を出し合ったり、話し合ったりしていきます。そして、話し合いの結果を踏まえて、さらに「なぜ鉄砲を伝えたポルトガル人は、中国船に乗ってきたのだろうか」などを考察し、貿易や近隣国との関係、豪商の活動などを結び付けて、当時の社会の様子や特色について話し合ったり、お互いに説明したりする、とあります。私が子どもたちのころに学習した社会科の学び方とは随分変わっています。しかし、このような学びの積み重ねが、「生きる力」を育むことにつながっていくとされています。冒頭のソクラテスの言葉ではありませんが、子どもが学びの目的や意義を理解し、自分の考えを持つこと。他者との意見交換や協働を通じて理解を深める学びにつなげていくこと。そこを目指して、日々の授業改善に取り組んでいきたいと思っています。

校長 鮑田 誠男

【お知らせと11月の主な予定】

◇学習発表会 11月22日（土） 詳しくは、後日配布します案内をご覧ください。

児童は集団登校、下校時刻は11時30分ごろです。

11月25日（火）は、振替休日となります。

◇下校時刻の変更 11月から3月末まで放課後の下校時刻が16時になります。

◇授業・体罰暴言アンケートを6日（木）に配布します。13日（木）までに担任までご提出ください。

◇後期学校アンケートを17日（月）から実施します。28日（金）までにスマートフォン等で回答いただきますようお願いいたします。

◇2学期の期末個人懇談会は、12月16日（火）～19日（金）です。



11月の行事予定



日	曜	学校行事	その他
1	土		
2	日		
3	月	文化の日	
4	火	【ク】 6年部活動体験・体験授業 読書月間(28日まで)	
5	水	6年スポーツ交歓会	
6	木	いじめアンケート 授業・体罰暴言アンケート配布	
7	金	5年校外学習(ハグミュージアム) なかよしタイム(いもほり)	
8	土		
9	日		
10	月		
11	火		スクールカウンセラー
12	水		読み聞かせ(4・5・6年)
13	木		
14	金		
15	土		
16	日		
17	月	第2回学校アンケート配布 健康チェック週間	
18	火		
19	水		
20	木		
21	金		スクールカウンセラー
22	土	学習発表会	
23	日	勤労感謝の日	
24	月	振替休日	
25	火	振替休日	
26	水		銀行振替日
27	木		
28	金	4年社会見学(柴島浄水場) 此花中学図書委員会読み聞かせ(1・2年)5h なかよしタイム	
29	土		
30	日		
生活目標		自分から進んで仕事をしよう	